

しても物資の供給が伴わないため実施できない学校が多い。特にバスについては、現在その能力に限界を生じ完全給食全面実施の大きな隘路となっているものようで、これが対策と物資供給の円滑化につき一層の配慮を望む。

- 1 監査実施箇所名 人事委員会事務局
- 2 監査執行年月日 昭和43年10月9日
- 3 監査執行者 監査委員 浜田庄二
同 中田玉平
同 河崎巖

4 概況

(1) 職員の配置状況

区分	事務吏員	技術吏員	事務員	技術員	現業職員	計	臨時職員	合計
定員						13		13
現員	12		1			13		13

(2) 予算の執行状況

ア 歳入

科目	目	予算額	各年度へ の繰越額	予算現額	調定額	収入済額	収入 未済額
公平委員会事務 委託事業収入		543,000	0	543,000	547,000	547,000	0

イ 歳出

科目	目	予算額	各年度へ の繰越額	予算現額	支出済額	不用額
委員会費 事務局費		2,709,000	0	2,709,000	2,609,090	99,910
		16,685,000	0	16,685,000	15,177,702	1,507,298
合計		19,394,000	0	19,394,000	17,786,792	1,607,208

(3) 主な事務事業の実施状況

- ア 人事委員会議の開催 39回
- イ 人事委員会規則の制定改廃

職務の等級の分類の基準に関する規則外22規則、(延44回)

ウ 不利益処分についての不服申立ての審査

- (ア) 受理したもの 65件
- (イ) 却下したもの 585件
- (ウ) 裁決したもの 10件
- (エ) 次年度に持越したもの 334件

エ 公平委員会の事務の受託 36町村 13組合

オ 採用試験

区分	分	申込者	受験者	合格者	採用	名簿の現況(43.9)	
						辞退	名簿残
上級、初級、警察官		915	730	79	49	7	23

カ 採用及び昇任等の選考

- (ア) 採用 131
- (イ) 昇任 696
- (ウ) 臨時的任用 666

キ 給与の実態調査

- ク 民間108事業所
- ク (1) 職員(全部局、全職員) 10,588人
- ク 職員の給与に関する報告ならびに勧告及び意見
実施した日 昭和42年11月25日

- 1 監査実施箇所名 地方労働委員会事務局
- 2 監査執行年月日 昭和43年10月12日
- 3 監査執行者 監査委員 浜田庄二
同 中田玉平
同 河崎巖

4 概況

(1) 職員の配置状況

区分	事務吏員	技術吏員	事務員	技術員	現業職員	小計	臨時職員	合計
定員						11		11
現員	11					11		11

(2) 予算の執行状況

科目	目	予算額	各年度		支出済額	不用額
			予算額	現額		
委員会費	事務局費	6,473,000	0	6,473,000	5,952,509	520,491
		14,419,000	0	14,419,000	13,841,912	577,088
計		20,892,000	0	20,892,000	19,794,421	1,097,579

(3) 主な事務事業の実施状況

ア 不当労働行為事件

事件名及び件数	処理内訳		
	処	理	内
山陰放送不当労働行為事件ほか	5件	3件	2件
		1件	1件
		1件	2件

イ 組合員資格審査

組合名及び数	決定内訳		
	適	取	取
民放労連山陰放送労働組合ほか10組合	7組合	—	3組合
			1組合

ウ 調整事件

事件名及び件数	調整結果		取り下げ
	調	結	
山陰工業争議ほか	13件	8件	6件
			—

エ 実情調査

事件名及び件数	内		訳	
	自主解決	あつせん	あつせん	不当労働
因伯通運争議ほか	32件	24件	8件	1件

- 1 監査実施箇所名 警察本部
- 2 監査執行年月日 昭和43年11月1日

3 監査執行者

監査委員 浜田庄二
同 中田玉平
同 河崎巖

4 概況

(1) 職員の配置状況

区分	警察官			一般職員			臨時職員	合計					
	警視	警部	警部補	事務	技術	事務							
定員	192	67	29	9	2	124	316						
現員	7	27	39	45	64	192	67	29	9	2	18	125	317

(2) 予算の執行状況

了 入

科目	目	予算額	各階へ		調定額	収入済額	収入未済額
			予算額	了入額			
手数料	50,476,000	0	50,476,000	35,001,189	53,001,189	0	
国庫補助金	63,259,000	0	63,259,000	60,015,000	60,015,000	0	
財産運用収入	2,235,000	0	2,235,000	2,432,652	2,432,652	0	
財産売却収入	520,000	0	520,000	876,600	876,600	0	
寄附金	4,774,000	0	4,774,000	4,604,000	4,604,000	0	
雑入	1,052,000	0	1,052,000	578,840	578,840	0	
債	80,000,000	0	80,000,000	40,000,000	40,000,000	0	
計	202,316,000	0	202,316,000	161,508,281	161,508,281	0	

了 出

科目	目	予算額	各階へ		支出済額	翌年度繰越額	不用額
			予算額	了入額			
警察管理費	1,258,845,000	648,905,821	609,939,179	547,299,707	59,961,804	2,677,668	
警察活動費	93,704,000	35,859,010	57,844,990	57,743,095	0	101,895	
計	1,352,547,000	684,762,831	667,784,169	605,042,802	59,961,804	2,779,563	

(3) 主な事務事業の実施状況

了 刑法犯罪発生検査状況

罪種別	昭和41年		昭和42年	
	発生件数	検査件数	発生件数	検査件数
凶悪犯	109	104	73	73
粗暴犯	945	927	599	596
窃盗犯	4,074	2,245	3,668	2,152
赃物犯	80	79	41	41
犯罪	1,275	1,244	724	734
如能犯	91	89	55	54
風俗犯	1,272	1,092	1,529	1,546
業務上過失致死傷犯	344	329	201	191
その他刑法犯	8,188	6,107	6,890	5,387
合計	74,636	20,723	78,236	18,104

了 交通取締状況

区分	警告件数	検査件数	備考
昭和41年	9,307	21,231	

昭和42年 差引増減	7,901 △ 1,406	18,656 △ 2,575	
---------------	------------------	-------------------	--

ウ 交通安全施設整備 22,049,210円

定周期信号機 8基

押ボタン式信号機 11基

歩行者用灯器 2基

標識・標示 1,430本

エ 警察施設整備 66,691,303円

警察官駐在所の新築 6戸

警察官待機宿舍の建設 26戸

武道場の新築 1棟

オ 運転試験場、安全運転学校建設

支出 9,861,196円

翌年度繰越額 20,138,804円

コース 19,693m²

鉄筋2階建庁舎 1,148.42m²

発着場ほか 282.06m²

カ 警察学校土地購入

翌年度繰越額 39,823,000円

買収面積 8,435坪

5 指摘事項

(1) 財務に関する事務について

ア 財団法人警察育英会に対し基本財産として520,000円を「補助金」

から支出しているが、その性格は「出資金」である。従つて上記補助金は、財産(出資による権利)として管理すべきものであるので、公有財産事務取扱規則第40条の規定により取得の報告を早急にされたい。

イ 各警察署については、定期監査で述べたとおりである。本庁で措置を要する事項については、検討善処されたい。